



京都から行ける

近江の山々

4 伊吹山

知られ、「伊吹もぐさ」は有名である。暑さを避ける夜間登山も人気があり、7月限定の星空やユウスゲ、ヒメボタル観賞で山はにぎわう。

一方、古くから修験道の山として知られ、比叡山や葛城山などとともに平安初期には「七高山」のひとつに数えられた歴史を持つ山でもある。今回、登山道はいくつかあるが、山麓の三宮神社を起点とする正面登山道を紹介する。

伊吹山(標高1377m)は米原市に位置する。琵琶湖の北東にそびえる県内最高峰で、歴史も古く日本百名山にも選定されている山だ。写真①。葉草の山でもJR近江長岡駅から湖国バスで「伊吹山登山口」バス停下車。トイレ、駐車場、観光案内所、写真②へ進み、入山料(任意)徴収に協力してゲートをくぐれば登山口である。1合目までは樹林帯の中を行く。ここを抜けると空が一気に広がる。時にはパラグライダーが空を舞う。まず、

歴史古き県内最高峰



①

ここで水分補給をしよう。

1合目から山頂までは日陰がないので熱中症に要注意である。こまめな水分補給が大切だ。3合目まで遠く感じるが頑張ろう。道端の可憐な花々が応援してくれる。3合目の標高720mの標識に來ると北へ100mほどでトイレ完備の休憩所に着く。5合目までは傾斜の緩いスキー場跡に登る。雄大な伊吹を眼前に残り半分頑張れば頂上だ。



②

5合目からは少し急登になるが、見晴らしの良さで振り向けば眼下の琵琶湖にしばし我を忘れるだろう。

6合目の小屋を過ぎ7合目8合目と、疲れた足元の浮石に気を付けて9合目の防定です。



③

護網の扉をくぐると、山頂は間近だ。登山道には近年シカ害除けネットが張られて伊吹の花々が守られている。その先、山小屋の軒先を通り、展望遊歩道に誘い込まれ山頂の1377m一等三角点に着く。写真③。

さすが、「日本百名山」。

360度の大展望は、はるか遠くの山々、白山、乗鞍岳、御嶽山、近くは霊仙山から鈴鹿の山並み。展望を楽しんだら、達成感さめやらぬまま名残惜しいが、さあ下山。もと来た道を下ろう。歩行距離約11km、歩行時間の目安約6時間30分。(日本山岳会京都・滋賀支部 竹下節子)

次回8月11日掲載予定

アクセス JR近江長岡駅から湖国バスで「伊吹登山口」下車。車利用は北陸自動車道

米原ICから約20分。伊吹山ドライブウェイ利用、駐車場から徒歩20分で頂上を楽しめる。